

別紙様式 2 号

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(岩手県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時 (平成27年)	1年後 (平成28年)	2年後 (平成29年)	3年後 (平成30年)	目標値 (平成30年)	達成率		計画時 (平成27年)	1年後 (平成28年)	2年後 (平成29年)	3年後 (平成30年)	目標値 (平成30年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他					
																										再編後の施設の利用率
北上市	株式会社北上中央カントリーエレベーター	穀類乾燥調整貯蔵施設等再編利用(米)	-	-	73.2%	69.6%	100%	69.6%	6月中下旬の低温寒照の影響により、分けつの発生が抑制され、利用者の収量が減少したこと等が影響し利用率が低下した。	土地利用型作物(稲)	事業実施地区における下位等級指数を5割以上削減。	(前7中5平均) H20～26 下位等級指数 4.2 H20 3.3 H21 4.2 H22 7.8 H23 2.7 H24 2.6 H25 3.8 H26 6.8	-	下位等級指数 8.9 二等以下の数量 106.7t/全主食用米処理量 1,199t	下位等級指数 3.3 二等以下の数量 38.7t/全主食用米処理量 1,172t	下位等級指数 2.1 二等以下の数量 41.6t/全主食用米処理量 2,000t	41.3%	出穂は、平年より3日早かったが8月下旬からの日照不足により、登熟が緩慢になり未熟米が多くなった。	穀類乾燥調整貯蔵施設(建屋 1,110㎡、乾燥施設 260t/日、処理能力 3,000t 乾粉、サイロ 300×10基)	878,865,120	367,500,000	511,365,120	平成29年8月21日	当事業による施設稼働率は、6月の日照不足等の影響により、収穫量が減少したこと、69.6% (2,088t)の利用率となった。今後は、担い手への集積を進めることにより、対象面積を拡大し、施設利用率の向上を図る。また、下位等級指数の削減のため、適切な水管理や病害虫防除等の栽培管理を徹底するよう指導していく。	天候不良等の影響により、収穫量が減少し、目標の利用率に満たなかった。今後は地域担い手への集積を進め、利用効率の向上を図るとともに、適正な栽培管理情報を提供しながら関係機関と連携し目標達成に向け支援していく。	
都道府県平均達成率	55.5%	総合所見	H30年度は、天候の影響もあり米の収穫量が想定より減少したことも影響し、目標達成に至らなかった。しかし、当地域は、担い手への農地集積が進んできており、今後の施設取扱数量の増加が見込まれることから、引き続き関係機関と連携し目標達成に向け支援を行っていく。																							

- (注) 1 別紙様式 1号の2のIに準じて作成すること。
 2 要綱第3の4の(2)のAのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。